令和8年度

委 託 設 計 書

課　長	係　長	係　員	設計者	電　気　課

第　　号	設　計	令和8年　7月	期　間	自 契約後 至 令和8年12月28日

科											目
款	43	高速鉄道事業費用	項	05	営業費用	目	52	電路保存費	節	19	その他修繕費
款			項			目			節		

（業　務　名）　高速鉄道東西線大型保守用機械定期検査業務委託

（履行場所）　京都市伏見区醍醐川久保町

（設計金額）

（ 内　　　　　訳 ）

委　託　価　格

消費税及び地方消費税相当額

業　務　概　要

１　業務概要

本件は、東西線の大型保守用機械を常時良好な状態に維持するため、定期的な検査・整備を行うものである。

２　業務対象及び数量

東西線	電気検測車（タワー車含む）	１台
東西線	油圧作業台付作業車	１台
東西線	バケット付作業車	１台

３　業務内容

（1）　車体全般、エンジン、電気装置等の定期検査及び整備

（2）　制動装置、バケット装置、油圧作業台の定期検査・整備（ただし、測定器は除く。）

（3）　消耗品等の交換

内　　　訳

種　　別	形　状　寸　法	数 量	単位呼称	単　　価	金　　額	備　　考
Ⅰ　直接業務費						
1　東西線電気検測車定期検査		1	式			
2　東西線油圧作業台付作業車定期検査		1	式			
3　東西線バケット付作業車定期検査		1	式			
直接業務費　計						
Ⅱ　共通費						
1　直接物品費		1	式			
2　業務管理費		1	式			
3　一般管理費等		1	式			
共通費　計						
合　計（委託価格）						
消費税及び地方消費税相当額	委託価格×0.1					
総　合　計	委託価格+消費税及び地方消費税相当額					

内　　　　　訳

種　　別	形　状　寸　法	数 量	単位呼称	単　　価	金　　額	備　　考
1　東西線電気検測車定期検査						
(1)エンジン点検整備		1	式			
(2)トルクコンバーター点検		1	式			
(3)動力伝達装置及び走行装置点検調整		1	式			
(4)タワー車及び油圧装置点検調整		1	式			
(5)電気装置点検		1	式			
(6)ブレーキ装置点検		1	式			
(7)その他各部点検調整		1	式			
(8)発電機点検，部品交換及びオイル交換		1	式			
(9)エアコン装置及び油圧ジャッキ点検		1	式			
(10)速度パルス装置及び接地パンタ点検		1	式			
(11)ファンベルト交換作業						
取り外し作業		1	式			
分解整備作業		1	式			
取り付け作業		1	式			
(12)交換部品						
オイルエレメント	15274-99686	1	個			
エアーエレメント	16546-99509	1	個			
フューエルエレメント	16444-99129	1	個			

内　　　　　訳

種　　別	形　状　寸　法	数 量	単位呼称	単　　価	金　　額	備　　考
エンジンオイル	15W-40	25	L			
トルコンオイル	ATF	30	L			
ギヤーオイル	GLー5	20	L			
クーラント		20	L			
プラグ（発電機用）		2	個			
エアクリーナーエレメント（発電機用）		1	個			
オイルフィルター（発電機用）		1	個			
エンジンオイル（発電機用）		1	L			
ラジエーター液（発電機用）		1	L			
ファンベルト		2	個			
小計						
2　東西線油圧作業台付作業車定期検査						
(1)エンジン点検整備		1	式			
(2)トルクコンバーター点検		1	式			
(3)動力伝達装置及び走行装置点検調整		1	式			
(4)作業台及び油圧装置点検調整		1	式			
(5)電気装置点検		1	式			
(6)ブレーキ装置点検		1	式			
(7)その他各部点検調整		1	式			

内　　　　　訳

種　　別	形　状　寸　法	数量	単位呼称	単　　価	金　　額	備　　考
(8)エアコン装置、アウトリガー及び油圧ジャッキ点検		1	式			
(9)交換部品						
オイルエレメント	15201-Z9013	1	個			
フューエルエレメント	16403-99011	1	個			
エアーエレメント	16546-95002	1	個			
エンジンオイル	15W-40	12	L			
トルコンオイル	ATF	30	L			
ギヤーオイル	HD80W-90	20	L			
クーラント		20	L			
小計						
3　東西線バケット付作業車定期検査						
(1)エンジン点検整備		1	式			
(2)トルクコンバーター点検		1	式			
(3)動力伝達装置及び走行装置点検調整		1	式			
(4)バケット装置点検（法定点検）		1	式			
(5)電気装置点検		1	式			
(6)ブレーキ装置点検		1	式			
(7)その他各部点検調整		1	式			

内　　　　　訳

種　　別	形　状　寸　法	数 量	単位呼称	単　　価	金　　額	備　　考
(8)エアコン装置、アウトリガー及び油圧ジャッキ点検		1	式			
(9)交換部品						
オイルエレメント	15201-Z9013	1	個			
フェールエレメント	16403-99011	1	個			
エヤーエレメント	16546-95002	1	個			
エンジンオイル	15W-40	12	L			
トルコンオイル	ATF	30	L			
ギヤーオイル	HD80W-90	20	L			
クーラント		20	L			
小計						

高速鉄道東西線
大型保守用機械
定期検査業務委託

特　記　仕　様　書

令和８年　７月

京　都　市　交　通　局
高速鉄道部　電気課

第１　業務概要

１　業務名

高速鉄道東西線大型保守用機械定期検査業務委託

２　履行場所等

京都市伏見区醍醐川久保町

３　履行期間

契約後　～　令和８年１２月２８日

４　支払方法

完了払い

第２　業務目的

本業務は、京都市交通局（以下「発注者」という。）の東西線大型保守用機械を常時良好な状態に維持するため、定期的な検査・整備を行うものである。

第３　委託内容等

１　対象機器及び数量

(1) 東西線　電気検測車（タワー車含む）　　１台
(2) 東西線　油圧作業台付作業車　　１台
(3) 東西線　バケット付作業車　　１台

詳細は別表１　参照

２　委託内容

東西線電気検測車（タワー車含む）及び東西線油圧作業台付作業車、東西線バケット付作業車について、別表２、３、４の検査項目内容に基づいて定期（１２ヶ月）検査業務を行うものとし、東西線バケット付作業車についてはバケット装置の法定点検も行うこと。

３　部品交換等

各車両について交換部品は別表５のとおりとする。

第４　一般事項

１　適　用

業務内容に関してこの仕様書に定めのない事項については、関係法令その他別に定めるものによる。

２　業務遂行の心得

本業務受託者（以下「受注者」という。）は業務遂行前に仕様書、図面及び現場を熟覧調査し業務を遂行するものとする。なお、軽微な変更については設計変更の対象としない。

３　契約の保証　　本契約においては保証を免除する。

４　関係法規

本業務の履行にあたっては、関係法規を遵守して行わなければならない。

建設業法	鉄道事業法
労働基準法	電気事業法
労働安全衛生法	電気通信事業法
公害対策基本法	消防法
建築基準法	その他関係法

京都市交通局　電気運転保安設備整備基準

京都市交通局　保安規程

５　一括再委託の禁止並びに下請

(1)　受注者は本業務の全部又は主たる部分を一括して第三者に再委託してはならない。ただし、あらかじめ書面により発注者の承諾を得た場合はこの限りでない。

(2)　受注者は下請業者を使用する場合、あらかじめ書面により発注者の承諾を得るものとする。

(3)　受注者は下請業者を指導監督し、緊急やむを得ない場合を除き、下請業者のみで作業をさせてはならない。

６　作業従事者の資格と体制

(1)　受注者は本業務の履行に際し、主任検査員及び検査員を選任し、本仕様書に定める責務を遵守させなければならない。なお、主任検査員及び検査員は、鉄道事業用車における同種・同規模の業務に従事した経験を有するものであること。受注者は作業内容が法に定める資格を必要とする場合、作業従事者が当該資格を有することをあらかじめ確認し、無資格者に従事させてはならない。

(2)　受注者はあらかじめ作業に従事する者の氏名、資格等（作業に必要なものに限る。）を発注者に届け出ること。

７　業務の履行

(1)　受注者は業務の履行に際し、作業日、作業時間帯、作業手順等について発注者と十分な打ち合わせを行い、行程表を作成し、提出すること。また、発注者が業務に立ち会う

場合は随時、その指示に従うこと。

(2)　業務に必要な部品等については、発注者が承諾する場合を除いて速やかにメーカー純正品を調達し、かつ、メーカーより修理に関する技術サポート及び保証を受けられるものであること。

(3)　業務履行時において、発注者と打ち合わせのうえ、旅客及び列車並びに関連する設備に対し十分な安全対策を取るものとし、受注者の過失又はその処置の不備等に起因する人身事故及び物損並びに列車運転阻害に対して、受注者はその責任を負うものとする。

(4)　受注者は発注者より所定の腕章を必要人数分受け取り、期間中、責任を持って管理すること。また腕章、所属会社所定の作業服・名札・ヘルメット（高所及び軌道内立ち入り時）を着用しない者を従事させてはならない。

(5)　作業時間帯は原則として、平日昼間の９時から１７時までとする。

(6)　天候の急変、突発的な鉄道事故等のため、発注者の判断により、当日の着手前若しくは着手中であって止むを得ず、業務等を延期又は中断することがある。ただし、この場合の委託金額の変更は行わないものとする。

(7)　作業終了時にはその都度、後片付け、工具等の員数確認、清掃を行うとともに発注者が立会しない場合は扉の鎖錠を確実に行うこと。

(8)　各扉の鍵は必要に応じ、所定の手続きをとって貸与するものとする。ただし、紛失した場合は、速やかに報告し、復旧費用を弁償すること。なお、復旧費用は紛失した鍵で開錠・施錠することのできる各駅及び各施設の全シリンダー交換を含めた費用とする。

(9)　受注者は業務等に必要な消耗品類、計器、工具、小資材等は受注者の負担で常備すること。なお、特殊計器や特殊工具については、発注者所有のものを所定の手続きをとることにより借用することができる。ただし、紛失又は損傷した場合は、直ちに報告するとともに、弁償すること。

(10)　交換した部品等は、受注者が引き取ること。

８　報告

(1)　受注者は作業日ごとに作業日報を発注者に速報として提出すること。また、工具類、用具用品類、測定器類及び消耗品の作業前後のチェックシートも合わせて提出すること。

(2)　履行中に発見された不具合や修理が必要な部位については、その都度速やかに報告すること。

(3)　受注者は業務完了後、発注者の確認を受けるとともに、結果についての報告書を提出すること。

(4)　不具合や修理が必要な部位について、問題点等の説明を行うこと。また、指示した項目については、修理等の提案及び見積もりを提出すること。

９　提出書類

(1)　契約時、完成時の提出書類は、下記により速やかに提出すること。変更時においても速やかに変更届を提出すること。なお、特に指示のない限り用紙サイズはＡ４サイズとする。

提出書類一覧表

提出書類名	提出部数	提出期限
契約書（写し）	1	契約後速やかに
着手届	1	契約後７日以内
工程表届	1	〃
業務予定工程表	1	〃
主任検査員等選任届	1	〃
主任検査員経歴書 （鉄道事業用車における同種・同規模の業務に従事した経歴）	1	〃
検査員経歴書	1	〃
作業に必要な資格の写し	1	必要な場合、着手前までに
再委託申請書	1	その都度
業務体制表届	1	契約後７日以内
業務体制表	1	〃
緊急連絡体制表届	1	〃
緊急連絡体制表	1	〃
完了届	1	完了日
完了払請求書	1	完了後直ちに
振込依頼書	1	〃
業務完了報告書	2	〃

(2)　業務完了報告書

完了報告書は、必要な前述書類をＡ４サイズにファイル（ファイルに契約年度、委託名、委託業者名を表紙及び背表紙に明記）し、添付書類のリストを添付のうえ、発注者に提出する。

ア　検査報告書（点検記録）

イ　検査写真

ウ　業務日報及び工具チェックシート

エ　その他、発注者が指示するもの

(3)　業務日報及び工具チェックシート

作業人数、作業内容、搬入機材、不具合、工具類及び消耗品類の員数等を作業日ごとに記録し、発注者に提出する。

１０　委託料の支払い

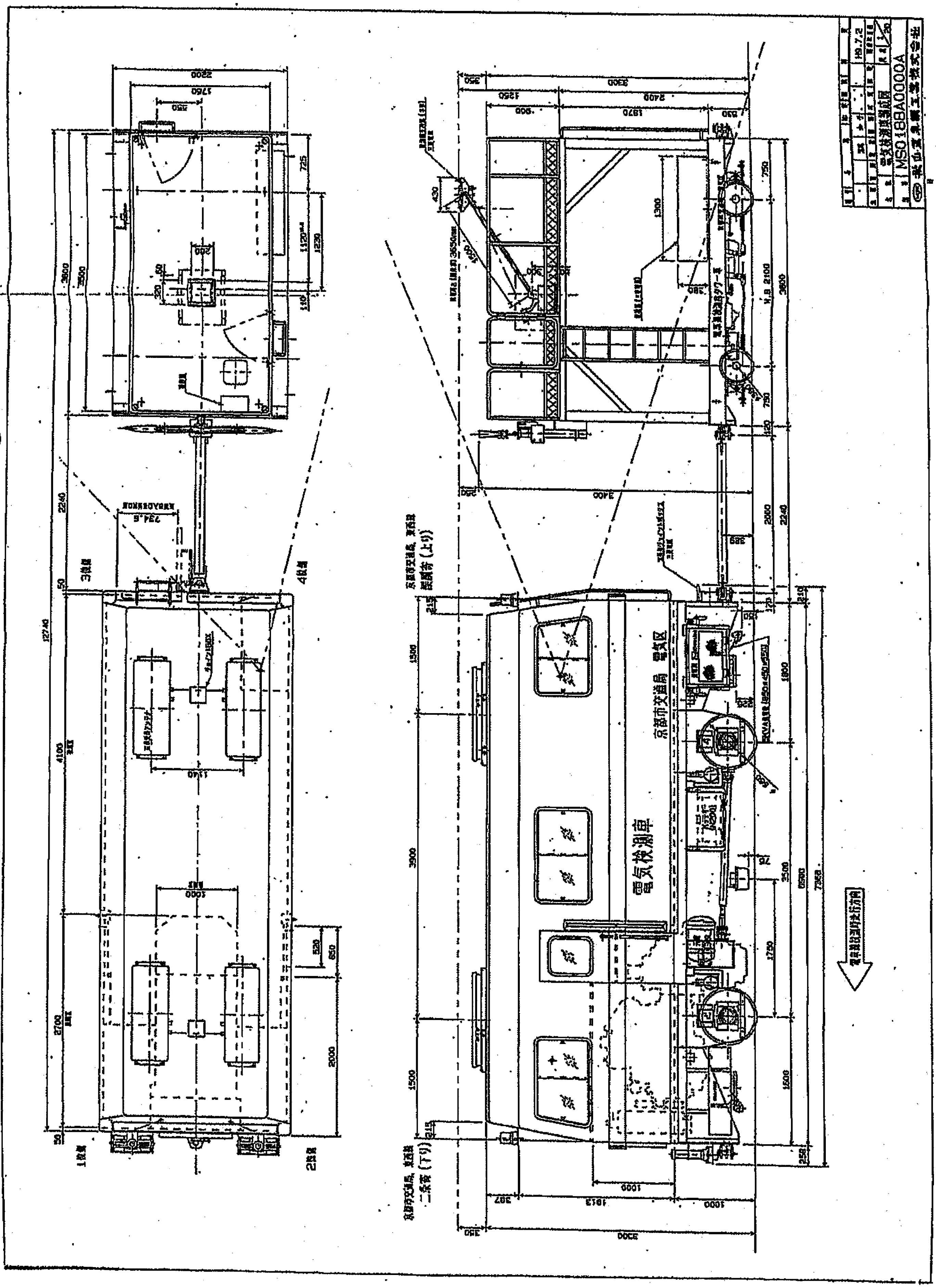
本業務の委託料の支払は、委託終了時に発注者が確認した後、請求により支払うものとする。

別表１

各作業車の詳細は下記による

東西線電気検測車編成図	１－	1
東西線電気検測車１	１－	2
東西線電気検測車２	１－	3
東西線電気検測車３	１－	4
東西線油圧作業台付作業車図	１－	5
東西線油圧作業台付作業車１	１－	6
東西線油圧作業台付作業車２	１－	7
東西線油圧作業台付作業車３	１－	8
東西線バケット付作業車図	１－	9
東西線バケット付作業車１	１－	10
東西線バケット付作業車２	１－	11
東西線バケット付作業車３	１－	12
東西線バケット付作業車４	１－	13

東西線電気検測車編成図　　１－１



東西線電気検測車１　　１－２

主要機器諸元

（1）エンジン　　日産ディーゼル　PE6T04
4サイクル水冷6気筒ディーゼルエンジン
定格出力　230Ps/2200rpm　　最大トルク　94kgm/1200rpm
排気量　11670cc　　重量　約900kg

（2）トルクコンバーター（定速制御装置付）　　新潟コンバーター　TDCBN-22-1005K
3要素1段2相式、ストールトルク比　3.06
減速比　低速　2.32、高速　0.98
電磁弁切換式（DC24V）　　重量　約870kg

（3）推進軸　　日産ディーゼル純正　　PS410（37030-91319）

（4）後輪軸　　カサ歯車常時噛合式

※エンジンおよびトルクコンバーターの取扱いについては、それぞれ別添「取扱説明書」を参照して下さい。

ブレーキ装置（MS0188A0500A）

（1）主ブレーキ
コンプレッサーで発生した圧縮空気を元空気溜に込め、主・副運転席はブレーキペダルで操作し、チャンバーアンドシリンダー（倍力装置）へ圧縮空気を送ります。ここで油圧に変換してキャリパを作動させ、前後軸の両端に設けたディスクを制動する4輪ディスクブレーキです。

（2）勾配ブレーキ
主・副運転席のどこからでも操作できます。
停車した後で運転席を移動する際、計器盤に設けた押しボタンスイッチをONにすると「主ブレーキ」と同様に作用します。

（3）駐車ブレーキ
トルクコンバーターの出力軸にフェールセーフ型ディスクブレーキユニットを設け主・副運転席の押しボタンスイッチで操作します。
※元空気溜の圧縮空気が少ない場合やキースイッチをOFFにした時は自動的に駐車ブレーキは作動します。

注1）ブレーキチャンバー（倍力装置）は、重要保安部品として特に不具合がなくとも1年毎に定期分解を行い、ゴム部品の交換をして下さい。

注2）ブレーキオイルは、不足するとAIRが混入してブレーキの効き具合が悪くなります。オイルレザーバー内には、オイルを十分に満たしておいて下さい。（毎日点検）

注3）ブレーキ配管および接手部分の油漏れを常に点検し、状況に応じ「増締め」または交換をして下さい。

運転制御装置

運転室１位側に「主」運転席、４位側に「副」運転席を設け、タワー車と併せて３ヶ所から運転することができます。
各運転席の計器盤には各種メーター、表示灯、スイッチ類などの運転制御にかかせない計器を配置してあります。

（１）E-4Fフートブレーキバルブ
主・副運転席に設けてあります。
空気圧とブレーキ液圧を併用した空気油圧複合式（AOH）ブレーキです。
AOH（エアーオーバーハイドリック）ブレーキは、ペダルの踏み込み量によって空気圧をコントロールし、その空気圧によってブレーキをかけます。
※従いまして、非常の場合を除きペダルを大きく踏み込まないで下さい。

注１）ペダルを踏み込んだままにしておくと短距離で停止しますが、その際に強いショックを伴います。

注２）ペダルをゆるめる際に、完全にゆるめてしまうとエアーチャンバー内のエアーが排出されて車輌が流れてしまいます。

注３）ペダルの「バタ踏み」はエアーチャンバー内のエアーが排出されて車輌が流れますので行わないで下さい。

注４）空気圧が下がると効きが悪くなります。常にエアーメーター（元空気溜）の指針に注意し、標準空気圧（6.0～7.2kg/㎠）に保つようにして下さい。

注５）ブレーキペダルのしたにはマットや異物などがかみ込まないように注意して下さい。

．懸架装置

コイルスプリング式

．機関取付

エンジン、トルクコンバーターは、それぞれ「クッションゴム」を介して「メインフレーム」に強固に取付けています。

．けん引装置

前後バンパーに２段式ピンリンク連結器を設け、緊急時救援用の連結棒を後部バンパーに設けています。

．電気配線

（１）DC24V、DC12V、AC100Vの３種類を使用しており、DC12Vは距離パルス検出器の電源で、AC100Vは各種測定機器の電源、その他はDCC24Vとなっています。

（２）バッテリーは２－４位側中央部床下に 200AH（２ヶ）収納しています。
※ バッテリー液および比重は常に点検して下さい。

（３）照明灯は下記の通りです。

ヘッドランプ（内）	DC24V－70W	４ヶ
ヘッドランプ（外）	DC24V－75/70W	４ヶ
テールランプ	DC24V－10/25W	４ヶ
室内灯（蛍光灯）	DC24V－20W	３ヶ
検測室（蛍光灯）	DC24V－20W	３ヶ
計　器　灯	DC24V－ 5W	４ヶ（各２）
床　下　灯	DC24V－60W	２ヶ
機　関　室　灯	DC24V－12W	２ヶ
回　転　灯	DC24V－45W	２ヶ

．冷房装置

室内の主側正面および副側々面に最新型の冷房・ヒートポンプ暖房兼用セパレート形マルチエアコンを搭載しております。（別添「取扱説明書」をご覧下さい。）

★ このマルチエアコンは、
◆ ２台の室内ユニットを１台の室外ユニットに接続して運転するエアコンです。
◆ 室内ユニットは１台だけの運転はもちろん、２台同時運転もできます。

．輪　　軸

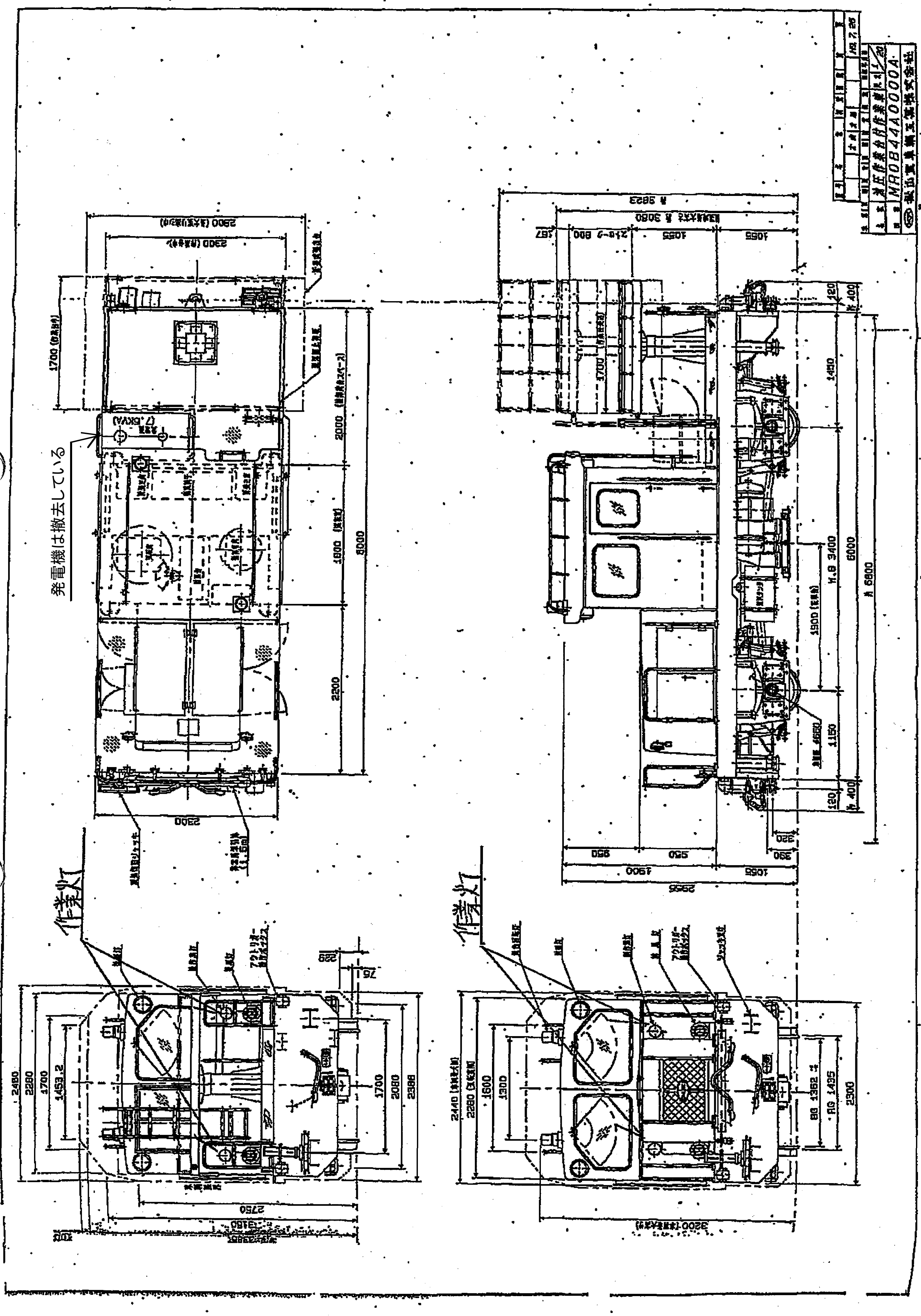
車輪は、φ６６０の圧延車輪で踏面形状はご指定のとおりです。

．発電機（ホンダ EV6010N）

AC100V・60 Hz、６kVA 容量の車載用発電機で、４位床下に収納してあります。
※ 操作は、別添「取扱説明書」をご覧下さい。

注）燃料は、ガソリン（無鉛）です。これ以外の燃料はトラブルの原因となりますので絶対に使用しないで下さい。

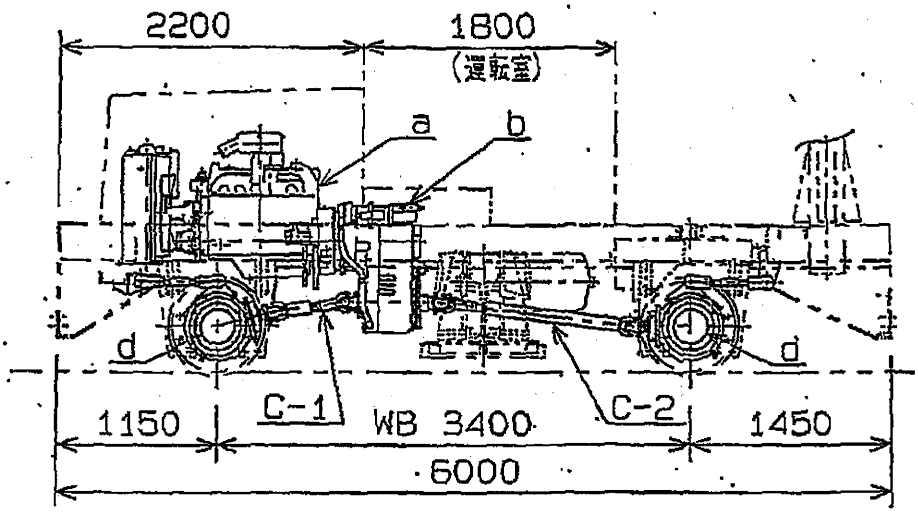
東西線油圧作業台付作業車　　１－５



東西線油圧作業台付作業車１　１－６

主要機能諸元

◇ 駆動装置略図



a）エンジン

日産ディーゼル	ＦＥ６Ａ５４
排　気　量	φ１０８×１２６st×６，９２５cc
定　格　出　力	１３２ps/２４００rpm
最大トルク	４４kg-m／１４００rpm
重　　量	約　５３０kg（乾燥）

b）トルクコンバーター及びトランスミッション

型　式（トランスミッション）	新潟コンバーター　ＴＤＣＮ-２２-８０４Ｌ
作　動　方　式	油圧湿式多板クラッチ
切　換　方　式	電磁弁（ＤＣ２４ｖ）及び手動式
重　　量	約　５００kg（乾燥）

c）推　進　軸

日産ディーゼル純正

第１，（ミッション～　前　軸　）	Ｎｏ．37610Z6004
第２，（ミッション～　後　軸　）	Ｎｏ．37610Z6205

d）前後終減速機

減　速　比	39／ 8 ＝４．８７５
軸　　受	鉄道車輌用軸受　ＪＢ－７０２Ｎ
懸　　架	重ね板ばね式

東西線油圧作業台付作業車２　　１－７

◇ 基礎ブレーキ－－→（ＭＲ０８４４Ａ０４００Ａ）

ａ）　主ブレーキ

空気貫通４輪抱込式ブレーキ－－→Ｇ型入換ブレーキ弁×Ｋ－１－Ｒ三動弁

ｂ）　駐車ブレーキ

フェールセール型駐車ブレーキ（バネ押付型ディスク）

◇ 空気ブレーキ－－→（ＭＲ０８４４Ｃ０５００Ａ）

品名	型式	メーカー	数量
エアーコンプレッサー	Ｃ－６００	ＮＡＢＣＯ	１
ブレーキ弁	Ｇ型	〃	１
ブレーキシリンダー	１２７×１８０Ｕ	〃	４
調圧器	ＮＳ－１６	〃	１
給気弁	ＮＦ－３	〃	１
元空気溜	１００ℓ	〃	２
チリコシ	3/4" 渦巻型	〃	１
安全弁	Ｅ－１，甲，乙	〃	１
笛	ＡＷ－５	〃	１

◇ 運転操作装置

運転室内の横向き位置に計器台他の運転操作装置を設けてあります。
前面に計器台・床面にアクセルペタルが取付けられています。
運転制御はＤＣ２４Ｖ電磁弁切換式です。

◇ コンプレッサー駆動

Ｖベルト常時駆動式　　　　使用ベルト　Ｃ－８０×２本

◇ けん引装置

２段ピンリンク連結器装備　　　ピン径　４０㎜

◇ 電装品

バッテリー	１２Ｖ－１５０ＡＨ（床下引出式）２ケ
オルターネーター	ＡＣ２４Ｖ－８０Ａ

東西線油圧作業台付作業車３　１－８

◇ 油圧装置

トランスミッション直結式ＰＴＯにより油圧を発生させ、転車台．作業台．アウトリガーの各油圧装置が取扱い出来ます。
主要機器及び配管系統についてはＭＲ０８４４Ｂ１４００Ｂを参照して下さい。

◇ 脱線復旧用アウトリガー装置

車体４隅に脱線復旧用アウトリガーを装備しています。それぞれバンパー部に設けてある単独操作用モノレバースイッチで作動します。
（１基当り出力約７ｔ、ストローク４８５ミリ）

◇ 横送り付脱線ジャッキ

車体前後に最大出力　１５ｔ，スライド　３００ミリの脱線ジャッキが装備されています。

◇ 作業台装置

後部荷台に油圧昇降式の作業台を装備しています。計器盤に設けてある操作スイッチで作動します。

作業台巾　×　長さ　　２，３００㎜×１，７００㎜
作業台上下ストローク　　８００㎜

◇ 手動ポンプ装置

油圧ポンプ及びＰＴＯ電磁弁等の不具合により、油圧が発生出来ない時、人力により手動ポンプを作動させて、油圧機器を作動させる事が出来ます。

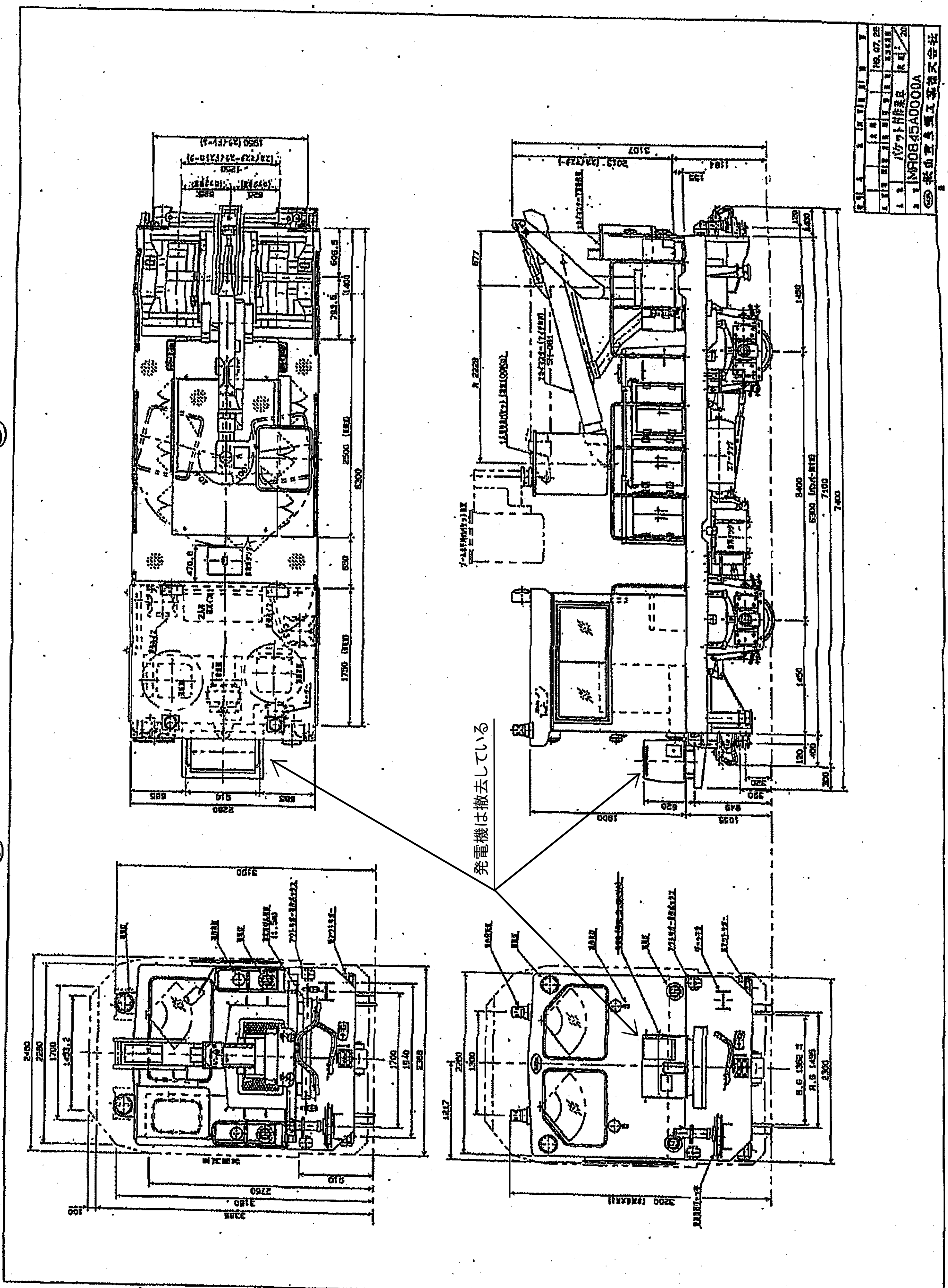
~~◇ 発電機~~　（撤去済み）

~~本車輌には７．５ｋＶＡ発電機が搭載してあります。~~
~~運転室屋根上及び作業台上のコンセント及び前後バンパーにＡＣ１００Ｖ電源を供給します。~~
~~搭載型式　　ＴＬＧ－７．５ＳＰＫ（デンヨー製）~~

◇ その他

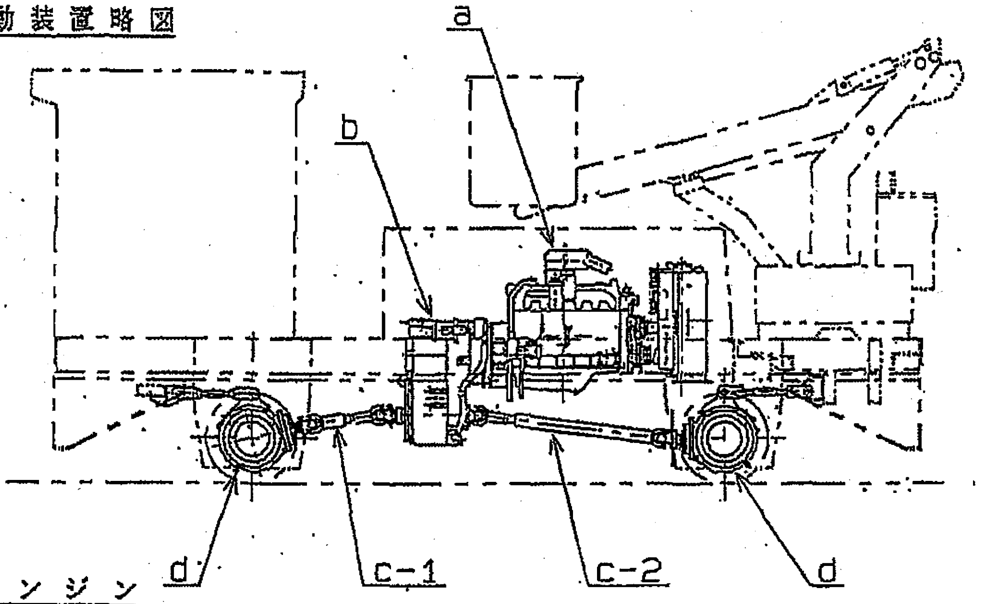
燃料タンク容量	１３０ℓ（荷台側面より給油）
暖房装置能力	３０００kcal/h
冷房装置能力	３１０．０kcal/h
作動油タンク容量	１２０ℓ（荷台床面より給油・検油）

東西線バケット付作業車　　１－９



1-3.　主要機能諸元

◇ 駆動装置略図



a）エンジン

日産ディーゼル　　FE6A54

排気量　　φ108×126st×6，925cc

定格出力　　132ps/2400rpm

最大トルク　　44kg-m/1400rpm

重量　　約 530kg（乾燥）

（別添取説参照）

b）トルクコンバーター及びトランスミッション

型式（トランスミッション）　新潟コンバーター TDCN-22-804L

作動方式　　油圧湿式多板クラッチ

切換方式　　電磁弁（DC24.v）及び手動式

重量　　約 500kg（乾燥）

（別添取説参照）

c）推進軸

日産ディーゼル純正

第1，（ミッション～前軸）　No．37610Z6004

第2，（ミッション～後軸）　No．37610Z6205

d）前後終減速機

減速比　　39／8＝4．875

軸受　　鉄道車輌用軸受 JB－702N

懸架　　重ね板ばね式

東西線バケット付作業車２　　１－１１

◇ 基礎ブレーキ――→（MR0845A0400A）

a） 主ブレーキ

空気貫通４輪抱込式ブレーキ―――→G型入換ブレーキ弁×K－１－R三動弁

b） 駐車ブレーキ

フェールセール型駐車ブレーキ（バネ押付型ディスク）

◇ 空気ブレーキ――→（MR0844C0500A）

品　　名	型　　式	メーカー	数　量
エアーコンプレッサー	C－600	NABCO	1
ブ レ ー キ 弁	G　型	〃	1
ブレーキシリンダー	１２７×１８０U	〃	4
調　圧　器	NS－16	〃	1
給　気　弁	NF－　3	〃	1
元　空　気　溜	100ℓ	〃	2
チ　リ　コ　シ	3/4" 渦巻型	〃	1
安　全　弁	E－1，甲，乙	〃	1
笛	AW－5	〃	1

◇ 運転操作装置

運転室内の横向き位置に計器台他の運転操作装置を設けてあります。
前面に計器台・床面にアクセルペダルが取付けられています。
運転制御はDC２４V電磁弁切換式です。

◇ コンプレッサー駆動

Vベルト常時駆動式　　　　：使用ベルト　　C－８０×２本

◇ けん引装置

２段ピンリンク連結器装備　　・ピン径　４０㎜

◇ 電装品

バッテリー　　１２V－１５０AH（床下引出式）２ケ
オルターネーター　　AC２４V－８０A

◇ 油圧装置

トランスミッション直結式ＰＴＯにより油圧を発生させ、スカイマスター．アウトリガーを操作出来ます。

主要機器及び配管系統についてはＭＲ０８４５Ｂ１４００Ｃを参照して下さい。

◇ 脱線復旧用アウトリガー装置

車体４隅に脱線復旧用アウトリガーを装備しています。それぞれバンパー部に設けてある単独操作用モノレバースイッチで作動します。

アウトリガーが格納時以外は運転室内アウトリガー表示灯（赤）及びスカイマスター下部操作盤のアウトリガー使用表示灯（赤）が点灯します。

（１基当り出力約７ｔ、ストローク４８５ミリ）

◇ 横送り付脱線ジャッキ

車体前後に最大出力　１５ｔ，スライド　３００ミリの脱線ジャッキが装備されています。

◇ スカイマスタースライド装置

車両後部のスカイマスターを油圧シリンダーによりスライドさせる事ができます。スカイマスター本体の格納位置は、車両中心です。この位置にある時、スカイマスターのブームが格納状態であれば、計器台の「走行可」表示灯が点灯します。

操作は機関室両脇のコンセントにスライドリモコンを差し込み、リモコンの「右」「左」のボタンを押して行ないます。

スライド格納位置に１カ所のみロックピンが差せます。作業終了時、回送時にロックピンを差して下さい。

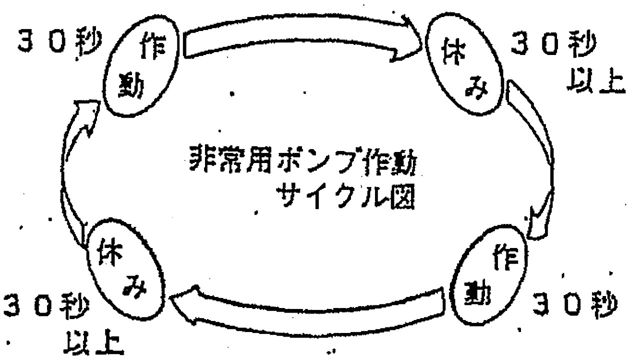
警告

- スライドさせる時は周囲の安全を確認し、指揮者を配置してから行なって下さい。また操作する人もスカイマスターの動きに注意して下さい。
- スライド操作はスカイマスターが格納している時に行なって下さい。
- ２段式シリンダーでスライドをさせていますので、シリンダー１段目と２段目では、スライド速度が違います。スカイマスター移動中に中央附近で速度が速くなりますので注意して下さい。

東西線バケット付作業車４　１－１３

◇ 非常ポンプ装置

高所作業中及びアウトリガー使用中にエンジン又はポンプの故障等で操作不能になった時、作業者を地上に降ろし、スカイマスターを格納させたり、アウトリガーを格納させる場合に使用します。非常ポンプスイッチは、運転室内計器盤・スカイマスター下部操作盤・バケット部操作盤にあります。
スイッチを「入」にしている間だけ非常ポンプが作動し、操作ができます。



- ○　作動時間は１回３０秒以内とし、次に作動させるまで３０秒以上の間隔をとって下さい。
- ○　非常ポンプは電動モータを使用しているため、作業姿勢にする等の大きな負荷が掛かる使用や上記サイクル以外の作動を行うとモータが焼損する場合があります。

◇ 手動ポンプ装置

油圧ポンプ及びＰＴＯ電磁弁等の不具合により、油圧が発生出来ない時、人力により手動ポンプを作動させて、油圧機器を作動させる事が出来ます。

~~◇ 発電機~~　（撤去済み）

~~本車両には３ｋＶＡ発電機が搭載してあります。~~
~~スカイマスターバケットのコンセント及び前後バンパーにＡＣ１００Ｖ電源を供給します。~~
~~搭載型式　　　ＥＸ３０００（ホンダ製）~~
~~（本書後部の取扱説明書を参照して下さい。）~~

◇ その他

燃料タンク容量	１３０ℓ（荷台床面より給油）
暖房装置能力	３０００ｋcal/h
冷房装置能力	３１００ｋcal/h
作動油タンク容量	１００ℓ（荷台床面より給油・検油）

別表 2-1

東西線 電気検測車(タワー車含む)定期検査項目表

型 式		走行距離	
製造番号		検査年月日	
製造年月		検査場所	
アワメーター		検査員氏名	

点検記号

点検	調整	分解	取替	清掃	締付	給油	修理
V	A	W	X	C	T	L	△

区分	部分	検 査 項 目	記号	記 事
車体	各部	車体各部の損傷、異常の有無		
		各装置、備品類の点検及び取付部増締め		
		扉、窓、手摺及び梯子等の損傷、異常の有無		
		車体内外の補塗装		
機関	エンジン	エンジン調整		
		噴射時調整		
		アイドリング調整		
		エアーエレメント交換		
		オイルエレメント交換		
		燃料エレメント交換		
		エンジンオイル交換		
	冷却装置	ファンベルト調整又は交換		
		ラジエーターロアーホース及びバンド点検又は交換		
		ラジエーターアッパーホース及びバンド点検又は交換		
		ラジエーター洗浄		
		サーモスタット開閉試験、点検又は交換		
	燃料装置	インジェクションポンプ点検調整		
		フューエルポンプ点検調整		
		燃料パイプ点検又は交換		
		燃料タンク洗浄		
	電気部分	オイルネーター脱着		
		オイルネーター点検		
		レギュレーター点検		
		スターターモーター脱着		
		スターターモーター点検		
		バッテリーケーブル点検及び増締め		
		バッテリー比重測定及び液補充		
	その他	コンプレッサーベルト調整又は交換		
		油圧ポンプ点検調整		
		取付部点検		
		各ベルト張り調整		
		コンプレッサーオイル補充		

別表 2-2

区分	部分	検　査　項　目	記号	記　事
電気装置	計器類	灯具類点検又は交換		
		計器盤表示灯点検又は交換		
		リミットスイッチ点検又は交換		
		各スイッチ点検又は交換		
		電磁弁点検又は交換		
		速度パルス装置発光部清掃点検		
動力伝達装置	トルクコンバーター	トルコンオイル交換		
		オイルフィルター洗浄又は交換		
		圧力点検調整		
		取付部点検		
		電磁弁点検		
		オイルクーラー点検及び洗浄		
	最終減速機	プロペラシャフト点検調整		
		最終減速機オイル交換		
		最終減速機歯当たり点検及び調整		
		最終減速機オイル漏れ点検		
		各部増締め		
	車輪	車輪点検およびフランジ測定		バックゲージ　mm
		絶縁ボルト点検増締め		
		軸受部給油		
		軸箱点検調整		
		速度パルス装置発光部清掃点検		
制動装置	ブレーキ装置	ブレーキ点検及び調整		
		ブレーキシリンダーストローク調整		
		ブレーキシリンダー脱着		
		ブレーキシリンダーカップ点検又は交換		
		安全弁甲乙点検又は交換		
		ブレーキホース点検又は交換		
		エアー配管漏れ点検及び増締め		
		エアーホース点検又は交換(コンプレッサー用)		
		駐車ブレーキ緩解動作確認、エアー配管漏れ点検及び増締		
その他		連結器点検		
		冷暖房装置点検		
		発電機点検		
		油圧ジャッキ点検		

タワー車	車体各部の損傷, 異常の有無		
	各装置, 備品類の点検及び取付部増締め		
	手摺及び梯子等の損傷, 異常の有無		
	車体内外の補塗装		
	車輪, 車軸点検およびフランジ測定		バックゲージ　mm
	ブレーキ装置点検		
	エアーホース点検		
	接地パンタグラフ点検		

別表　2－3

区分	部分	検　　査　　項　　目	記号	記　　事
発電機	エンジン	エンジンオイル量		
		エアークリーナーエレメント清掃・交換		
		オイルフィルター清掃・交換		
		フューエルフィルター清掃・点検		
		プラグ交換		
		燃料タンク水抜き		
		バッテリー液量		
		燃料漏れ		
		フューエルパイプの異常		
		始動性		
		インジェクションノズル点検		
		タペット隙間調整		
	発電機	配線の異常		
		出力電圧		
		電圧計の作動		
		電圧ボリュームの作動		
		パイロットランプの点灯		
		アリーメーターの作動と時間		
		ブラシの点検清掃		
	ATS	配線の異常		
		手動運転		
		インジケーターランプの点検		
	本体	冷却風取り入れ口（詰まり）		
		冷却風吹き出し口（詰まり）		
		排気ガス噴出し口（詰まり）		
		バッテリー電圧(V)　測定 無負荷回転数(rpm)　測定 周波数(Hz)　測定 出力電圧(V) 測定		

別表 3−1

東西線 油圧作業台付作業車定期検査項目表

型 式		走行距離	
製造番号		検査年月日	
製造年月		検査場所	
アワメーター		検査員氏名	

点検記号

点検	調整	分解	取替	清掃	締付	給油	修理
V	A	W	X	C	T	L	△

区分	部分	検 査 項 目	記号	記 事
車体	各部	車体各部の損傷、異常の有無		
		各装置、備品類の点検及び取付部増締め		
		扉、窓、手摺及び梯子等の損傷、異常の有無		
		車体内外の補塗装		
機関	エンジン	エンジン調整		
		噴射時調整		
		アイドリング調整		
		エアーエレメント交換		
		オイルエレメント交換		
		燃料エレメント交換		
		エンジンオイル交換		
	冷却装置	ファンベルト調整又は交換		
		ラジエーターロアーホース及びバンド点検又は交換		
		ラジエーターアッパーホース及びバンド点検又は交換		
		ラジエーター洗浄		
		サーモスタット開閉試験，点検又は交換		
	燃料装置	インジェクションポンプ点検調整		
		フューエルポンプ点検調整		
		燃料パイプ点検又は交換		
		燃料タンク洗浄		
	電気部分	オイルネーター脱着		
		オイルネーター点検		
		レギュレーター点検		
		スターターモーター脱着		
		スターターモーター点検		
		バッテリーケーブル点検及び増締め		
		バッテリー比重測定及び液補充		
	その他	コンプレッサーベルト調整又は交換		
		油圧ポンプ点検調整		
		取付部点検		
		各ベルト張り調整		
		コンプレッサーオイル補充		

別表　3-2

区分	部分	検　査　項　目	記号	記　事
電気装置	計器類	灯具類点検又は交換		
		計器盤表示灯点検又は交換		
		リミットスイッチ点検又は交換		
		各スイッチ点検又は交換		
		電磁弁点検又は交換		
動力伝達装置	トルクコンバーター	トルコンオイル交換		
		オイルフィルター洗浄又は交換		
		圧力点検調整		
		取付部点検		
		電磁弁点検		
		オイルクーラー点検及び洗浄		
	最終減速機	プロペラシャフト点検調整		
		最終減速機オイル交換		
		最終減速機歯当たり点検及び調整		
		最終減速機オイル漏れ点検		
		各部増締め		
	車輪	車輪点検およびフランジ測定		バックゲージ　mm
		絶縁ボルト点検増締め		
		軸受部給油		
		軸箱点検調整		
制動装置	ブレーキ装置	ブレーキ点検及び調整		
		ブレーキシリンダーストローク調整（範囲　60mm～90mm）		ストローク値___ mm
		ブレーキシリンダー脱着		
		ブレーキシリンダーカップ点検又は交換		
		安全弁甲乙点検又は交換		
		ブレーキホース点検又は交換		
		エアー配管漏れ点検及び増締め		
		エアーホース点検又は交換（コンプレッサー用）		
		駐車ブレーキ緩解動作確認、エアー配管漏れ点検及び増締		
油圧作業台	各装置	作業台点検調整		
		転車台点検調整		
		油圧機器点検調整		
		油圧ホース類点検調整		
油圧装置	油圧ポンプ類	油圧タンク洗浄		
		作動油補充		
		ストレーナ清掃又は交換		
		油圧ポンプ点検		
		圧力調整		
		切替弁点検調整		
その他		連結器点検		
		冷暖房装置点検		
		アウトリガー装置点検		
		油圧ジャッキ点検		

別表 4-1

東西線 バケット付作業車定期検査項目表

型　式		走行距離	
製造番号		検査年月日	
製造年月		検査場所	
アワメーター		検査員氏名	

点検記号

点検	調整	分解	取替	清掃	締付	給油	修理
V	A	W	X	C	T	L	△

区分	部分	検　査　項　目	記号	記　事
車体	各部	車体各部の損傷、異常の有無		
		各装置、備品類の点検及び取付部増締め		
		扉、窓、手摺及び梯子等の損傷、異常の有無		
		車体内外の補塗装		
機関	エンジン	エンジン調整		
		噴射時調整		
		アイドリング調整		
		エアーエレメント交換		
		オイルエレメント交換		
		燃料エレメント交換		
		エンジンオイル交換		
	冷却装置	ファンベルト調整又は交換		
		ラジエーターロアーホース及びバンド点検又は交換		
		ラジエーターアッパーホース及びバンド点検又は交換		
		ラジエーター洗浄		
		サーモスタット開閉試験、点検又は交換		
	燃料装置	インジェクションポンプ点検調整		
		フューエルポンプ点検調整		
		燃料パイプ点検又は交換		
		燃料タンク洗浄		
	電気部分	オイルネーター脱着		
		オイルネーター点検		
		レギュレーター点検		
		スターターモーター脱着		
		スターターモーター点検		
		バッテリーケーブル点検及び増締め		
		バッテリー比重測定及び液補充		
	その他	コンプレッサーベルト調整又は交換		
		油圧ポンプ点検調整		
		取付部点検		
		各ベルト張り調整		
		コンプレッサーオイル補充		

別表　4-2

区分	部分	検　　査　　項　　目	記号	記　事
電気装置	計器類	灯具類点検又は交換		
		計器盤表示灯点検又は交換		
		リミットスイッチ点検又は交換		
		各スイッチ点検又は交換		
		電磁弁点検又は交換		
動力伝達装置	トルクコンバーター	トルコンオイル交換		
		オイルフィルター洗浄又は交換		
		圧力点検調整		
		取付部点検		
		電磁弁点検		
		オイルクーラー点検及び洗浄		
	最終減速機	プロペラシャフト点検調整		
		最終減速機オイル交換		
		最終減速機歯当たり点検及び調整		
		最終減速機オイル漏れ点検		
		各部増締め		
	車輪	車輪点検およびフランジ測定		バックゲージ　mm
		絶縁ボルト点検増締め		
		軸受部給油		
		軸箱点検調整		
制動装置	ブレーキ装置	ブレーキ点検及び調整		
		ブレーキシリンダーストローク調整（範囲　60mm～90mm）		ストローク値___ mm
		ブレーキシリンダー脱着		
		ブレーキシリンダーカップ点検又は交換		
		安全弁甲乙点検又は交換		
		ブレーキホース点検又は交換		
		エアー配管漏れ点検及び増締め		
		エアーホース点検又は交換（コンプレッサー用）		
		駐車ブレーキ緩解動作確認、エアー配管漏れ点検及び増締		
その他		連結器点検		
		冷暖房装置点検		
		油圧ジャッキ点検		

別表　5

交換部品

1．東西線電気検測車（タワー車含む）

オイルエレメント	15274-99686	1 個
エアーエレメント	16546-99509	1 個
フューエルエレメント	16444-99129	1 個
エンジンオイル	15W-40	25 L
トルコンオイル	ATF	30 L
ギヤーオイル	GL－5	20 L
クーラント		20 L
プラグ（発電機用）		2 個
エアクリーナーエレメント（発電機用）		1 個
オイルフィルター（発電機用）		1 個
エンジンオイル（発電機用）		1 L
ラジエター液（発電機用）		1 L
ファンベルト		2 個

2．東西線油圧作業台付作業車

オイルエレメント	15201-Z9013	1 個
フューエルエレメント	16403-99011	1 個
エアーエレメント	16546-95002	1 個
エンジンオイル	15W-40	12 L
トルコンオイル	ATF	30 L
ギヤーオイル	HD80W-90	20 L
クーラント		20 L

3．東西線バケット付作業車

オイルエレメント	15201-Z9013	1 個
フェールエレメント	16403-99011	1 個
エヤーエレメント	16546-95002	1 個
エンジンオイル	15W-40	12 L
トルコンオイル	ATF	30 L
ギヤーオイル	HD80W-90	20 L
クーラント		20 L